

2018 ぼくの夢 わたしの夢



新しい年を迎えて、
高山小学校6年生の
皆さんに「将来の夢」を
語っていただきます

助産師になつて
みんなを笑顔に

田中 萌花



私の将来の夢は、助産師になることです。助産師になるということは、新しい命のしゅん間に寄りそうということなんです。赤ちゃんが

生まれるのは、お母さんや赤ちゃんが頑張つてやっとの思いで生まれてきます。その時に私が笑顔で「おめでとございます。」と言つてお母さんや周りのみんなを笑顔にしたいからです。そんなすてきな手助けができるなんてすばらしいと思うからです。

あと、人と接する仕事がしたいからです。不安や心配している人に私の言動や笑顔で心が少しでもやわらぐような事ができる職業だからです。夢に向かって輝けるよう、努力したいです。

父と同じ

料理人になつて

倉田 和樹



ぼくの将来の夢は、料理人になつて、父の店をつぐことです。
理由は、父が料理人で、たくさんの人に喜ばれてい

て、良いなと思ったからです。店を始めて2年たったのですが、お客さんのアンケートをしていて、それを見ると「とてもおいしかった」や「またきたいです」と良いコメントがたくさんありました。それだけではありません。帰っていく人の顔を見ると、みんな笑顔で帰っていくのです。それを見て「自分もいろんな人に笑顔になつてもらえるような料理人になりたいな」と思いました。むずかしいことだと思うけど、がんばりたいなと思います。

サッカー選手に
なりた

武田 快晟



ぼくの将来の夢は、サッカー選手になることです。ぼくは中学生のサッカークラブの、クリロに入団することが決まっています。ク

リロで活躍して、前橋育英高校に入つて、全国大会で優勝して、サッカー選手になりたいです。ただ、自分でもサッカー選手になるのは簡単ではないことは、分かっています。だけど、サッカー選手は小さいころからの夢です。この夢をあきらめたくないで、今からでも今以上の努力をして、サッカー選手になり、自分がサッカーをしている人のあこがれのサッカー選手になりたいです。



みんなを笑顔にする
スイーツを

松井 ひなり



私の将来の夢はパティシエです。なぜかというと、スイーツをつくるのが好きだからです。今はレシピを見ながらつくっているけれ

どもっとスイーツについて調べて、大人になったら自分でスイーツをアレンジして食べてくれた人においしいと言ってもらえるようなスイーツをつくりたいです。私は「フルーツタルト」が好きなので「フルーツタルト」も自分でつくれるようになりたいです。あと家族の誕生日の日には誕生日ケーキをつくつてあげたいです。外国に行つたりして外国のスイーツもつくれるようになりたいです。あとまわりの人を笑顔にできるようなスイーツをつくりたいです。



フライトナース
になりたい

河原田 千恵

私の将来の夢は「フライトナース」です。理由は、6年生になって初めてのころに、たまにテレビを見ていたらいろいろな看護師の仕事をやっている、その中にフライトナースがやっていると、見ていてかっこよくて、たくさんの人をばげましていて、笑顔にしていたからです。あと、親せきが看護師をしていて、いろいろな話を聞いているうちに、フライトナースになりたいと思ったからです。でも、フライトナースになるには、たくさん勉強をしなければならぬので、これからも勉強をたくさんして、フライトナースという夢に向かってがんばりたいです。



サッカーの
日本代表選手に

高山 真幸

ぼくの将来の夢は、サッカー選手になって、日本代表になることです。今はとくにトレンセンとかに行っていないけれど、ぼくは前橋エコーというチームにはいっています。それで、全国大会に行くことができて、試合にもでて、いいけいけんになりました。中学生でも、サッカーをつづけます。中学でも、いっぱいれんしゅうをして、全国大会にいききたいです。高校はサッカーの名門の前橋育英高校にいきたいです。そのためには、ぼくはあたまがそんなによくないので、いっぱい勉強して、サッカーもいっぱいれんしゅうしていきたいです。そしてプロになりたいです。



歯科助手に
になりたい

小野 莉恵

私の将来の夢は、歯科助手になることです。理由は、歯医者で歯科医のちりょうの手伝いをしたり、歯のクリーニングなどをして、かんじやさんの歯の健康を守る仕事をやりたいと思ったからです。私も、歯医者に行ったら歯科助手の人に、歯のクリーニングをしてもらったりしたことがあります。その時も、ていねいにきれいにしてくれました。それに、歯科医をサポートする歯科助手は、大事なそん在なので、あまり目立たなくても、なくてはならない人たちだと思います。なので、歯科助手になって、歯科医といっしょに、たくさんの人達の歯の健康を守れるようになります。



宇宙飛行士に
になりたい

石坂 祐希

私の将来の夢は、宇宙飛行士です。最初は、ケーキ屋になりたいと思いました。次は、和がし屋さんになりたいと思いました。でも、本などを読んで、宇宙にきょうみをもち宇宙飛行士になりたいときめました。でも、はじめは、別になれなくていいと思っていたままだった。だけど、一つの本の言葉で、ぜったいなんてやるときめきました。その言葉は「若田光一物語」という本の「えいそうでも、写真でもない地球のすがたを見れるのは、宇宙飛行士だけなんだよ。」という言葉です。宇宙飛行士になるにはきびしい訓練をしないとねれないみたいです。私はぜったい宇宙飛行士になりたいです。



医者になりたい

石部 惺也

ぼくの将来の夢は、医者になることです。なぜかという、たくさん人の病気を治して笑顔で「ありがとう」と言われたいからです。なので、もつともつと勉強をして医師のめんどきをかくとくして医者になりたいです。どんなこんなにも乗りこえてたくさんの人をたすけたいと思います。



好きな絵を
使う職業に

阿部 ねねか

私の将来の夢は、絵をつかった仕事です。ネイリストとか、イラストレーターです。なぜかという、私は、本を読んだりして、間にでてる絵がとつてもかっこよくていいなと思ったからです。見てもらった人に、「かっこいいな」と思ってもらいたいです。ネイリストは、ネイルしているつめがとてきれいで、見ると「すごいな」とうやうやして「いるんだらう」と思うからです。私は、自分の絵には、自信がありません。だけど、がんばってすこしでも自分に自信がもてる絵になってみんなにすごいなと思ってもらえるようになりたいです。